

日本ビューホテル、2Q累計は増収減益 「旗艦ホテルの改装で、魅力・収益力向上を実現していく」

2017年12月14日に行われた、日本ビューホテル株式会社2018年4月期第2四半期決算説明会の内容を書き起こしでお届けします。

2018年4月期第2四半期決算説明会

遠藤由明氏：日本ビューホテル株式会社の代表取締役社長を務めます、遠藤由明です。

本日はお忙しい中、当社の2018年4月期第2四半期の決算説明会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。いつもお忙しい中、本当にありがとうございます。

私は昨年（2016年）の7月に代表取締役社長に選任されまして、2期目も半ばに入ったといったところです。当社一筋35年の、プロパーの人間です。すでに多くのみなさまとお会いさせていただいておりますが、本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2018年4月期につきましては、今年（2017年）1月に発表いたしました、第2次中期経営計画「VIEW HOTELS Mission -Sustainable Growth -」。訳しまして、「長期持続的な成長」。この、スタートの年度です。

そして、この半期につきましては、長期的な視点から策定いたしました、経営戦略・成長戦略に取り組んでまいりました。その内容は、5つございます。

1つ目に、長期的な視野に立った、4期総額で117億円の設備投資計画を実施していくこと。

2つ目に、旗艦ホテルの「浅草ビューホテル」。こちらのさらなる収益力をアップすべく目論んだ、大改装を実行すること。

3つ目に、都市型観光ホテルを展開すること。

4つ目に、「ビューホテルらしさ」。こちらのブランドを、確立していくこと。

5つ目に、「楽天ポイントカード」システムの導入によりまして、利便性の向上とピンポイントでの、セルフプロモーションを実行していくこと。この5つを実行してまいりました。

本日は、上半期の結果・今後の主な取り組みについて、ご説明いたします。みなさまにおかれましては、今後とも当社グループの事業につきまして、どうぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ①連結損益

2018年4月期 第2四半期連結業績 (2017年5月1日～2017年10月31日)

連結損益計算書				
単位:百万円	2017年4月期 第2四半期累計	2018年4月期 第2四半期累計	増減額	増減率
売上高	10,249	10,839	589	5.8%
ホテル事業	8,410	9,055	645	7.7%
施設運営事業	885	891	5	0.7%
遊園地事業	998	940	△58	△5.8%
調整額	△44	△47	△3	—%
営業利益	785	448	△336	△42.9%
ホテル事業	614	267	△346	△56.4%
施設運営事業	17	29	11	66.2%
遊園地事業	148	147	△1	△0.9%
調整額	4	4	0	2.8%
減価償却前営業利益	1,316	1,196	△119	△9.1%
ホテル事業	1,086	953	△133	△12.3%
施設運営事業	28	40	11	38.7%
遊園地事業	196	198	2	1.1%
調整額	4	4	0	2.8%
経常利益	747	460	△286	△38.3%
親会社株主に帰属する 当半期純利益	494	173	△321	△65.0%
(繰上り/繰下り)当半期純利益 (円換)	51.09	18.40	—	—

- 第2四半期連結累計期間は増収、減益
- ホテル事業は増収、減益
 - ・5月に札幌ビューホテル大通公園が開業し、売上に寄与
 - ・レストランや客室の新設改装工事を実施
 - ・浅草ビューホテルは1階ロビーフロア全面改装工事や受変電設備の更新工事などを実施
 - ・一部レストランの休業や全館クローズ期間を設け、減収
 - ・東京電力からの原発事故による逸失利益の補償金として56百万円を計上
- 施設運営事業は増収、増益
 - ・客室部門が堅調に推移
 - ・一部レストランの営業時間の見直しなどによる業務の効率化と経費低減
- 遊園地事業は減収、減益
 - ・7月から10月まで続いた長雨や台風などの天候不順による影響
- 連結で設備投資に係る固定資産除却損220百万円を計上

それでは、2018年4月期第2四半期の決算について、ご説明に入らせていただきます。

それでは最初に、2018年4月期第2四半期の、業績の状況のご説明です。

連結での損益につきましては、売上高が108億3,900万円、営業利益が4億4,800万円、経常利益が4億6,000万円、親会社株主に帰属する当期純利益が1億7,300万円という結果で、終了いたしました。

前年同期比でみてみますと、売上高がプラス5億8,900万円、営業利益がマイナス3億3,600万円、経常利益がマイナス2億8,600万円、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナス3億2,100万円となっております。

この業績につきましては、(2017年)8月17日に営業外収益の計上および業績予想の修正に関するお知らせをしています。こちらの予想数値より、売上高が1億6,100万円ほど下回っておりますが、販売費および一般管理費の低減によりまして、営業利益がプラス4,800万円、12.2パーセントほど、増加しております。

また、浅草ビューホテルの改装関連経費等が、計画より低減されたことによりまして、経常利益はプラス1億円、28パーセントほど、増加いたしました。

当期純利益につきましては、中期経営計画に基づく設備投資を実行に移してまいりました。連結で(設備投資に係る)固定資産除却損を2億2,000万円計上していますが、(2018年4月期第2四半期累計の当期純利益は、前年同期比で)プラス8,300万円。これは、8月17日の発表から92.5パーセントほど増加いたしました。

続きまして、セグメント別にご説明いたします。

ホテル事業につきましては、増収減益となっております。売上の面で見ますと、5月に開業いたしました、「札幌ビューホテル大通公園」が寄与しています。ただし、

利益の面では期首計画以上の利益が確保できておりますが、次に挙げます3つの要因で、減益となっているといったところです。

1つ目が、浅草ビューホテルの1階ロビーフロアの全面改装および受変電施設の更新に伴いまして、8月20日から3週間、全面営業クローズをいたしました。

2つ目が、「高崎ビューホテル」が、今年末をもちまして営業を終了すること。そのような経費も、計上しているということです。

3つ目が、札幌ビューホテル大通公園の、開業経費および改装工事の計上がございました。以上によりまして、減益となっている次第です。

続いて、施設運営事業につきましては、客室部門が堅調に推移したこと。そして、一部レストランの営業時間の見直しなども行いまして、業務の効率化と経費低減により、増収増益で終了いたしました。

最後が、遊園地事業です。こちらは、5月・6月のスタートは順調に推移しておりましたが、（売上の）ピークとなる7月からの夏休み、とくに8月21日から連続した豪雨（の影響）。また、秋の行楽シーズン・紅葉シーズンにつきましても、週末の2週間にわたり台風が襲来したという天候不順もございまして、こちらは減収減益となっている次第です。

今後に向けましては、遊園地事業は、本社営業部がより介入した販売体制の構築を図っていくとともに、この分野の専門のコンサルタント等を入れまして、そのアドバイスを参考に、新たな取り組みを実施していく予定となっております。

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ②連結財務実績

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ②連結財務実績



2018年4月期 第2四半期連結財務実績 (2017年10月31日現在)

連結貸借対照表				
単位：百万円	2017年4月期	2018年4月期 第2四半期	増減額	増減率
現金及び預金	3,221	2,542	△ 679	△ 21.1 %
売掛金	854	902	47	5.6 %
その他流動資産	928	1,223	295	31.8 %
流動資産合計	5,005	4,669	△ 336	△ 6.7 %
有形固定資産	16,870	24,147	7,276	43.1 %
無形固定資産	44	47	2	5.6 %
投資その他の資産	1,214	1,221	6	0.6 %
固定資産	18,129	25,415	7,285	40.2 %
資産合計	23,135	30,084	6,949	30.0 %
うち有利子負債（リース負債含む）	6,728	13,971	7,242	107.6 %
流動負債	4,386	4,961	574	13.1 %
固定負債	6,173	12,727	6,554	106.2 %
負債	10,559	17,688	7,129	67.5 %
資本金	2,769	2,775	5	0.2 %
資本剰余金	1,689	1,695	5	0.3 %
利益剰余金	8,269	8,234	△ 35	△ 0.4 %
自己株式	△ 247	△ 408	△ 160	— %
その他	94	99	5	5.8 %
負債	12,575	12,396	△ 179	△ 1.4 %
1株当たり純資産(円 銭)	1,323.84	1,319.48	—	—

- 浅草ビューホテルや札幌ビューホテル大通公園の改装工事により、固定資産が増加
- 札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約により、リース資産ならびにリース債務が増加
- 新規ホテルの開業や既存施設の改修等の事業拡大のため、シンジケート・ローンを利用した長期借入金が増加
- 配当の支払いおよび自己株式の取得によって、純資産が減少

4ページに移ります。続きまして、連結財務実績をご説明いたします。前期の2017年4月期末の、連結貸借対照表からの主な増減でみてみます。

まず、有形固定資産が、浅草ビューホテルと札幌ビューホテル 大通公園の改装工事および、札幌ビューホテル 大通公園の賃貸借契約による契約15年分のリース資産が計上されている関係で、72億7,600万円ほど増加しています。

札幌ビューホテル 大通公園の賃料につきましては、負債の部においても、リース債務としまして固定負債と流動負債に計上されているといった次第です。

また、中期経営計画に基づく新規ホテルの開業・既存施設の改修と事業拡大のためのシンジケート・ローンを利用した長期借入も行っておりまして、負債が増加している次第です。

利益剰余金につきましては、四半期純利益の積上もございましたが、配当の支払いにより減少しました。また、1月から7月の間で実施した自己株式取得のうち、今期の取得分11万6,400株、金額にしますと1億6,000万円。これらによりまして、純資産が1億7,900万円ほど減少しているといったところです。

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ③財務指標

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ③財務指標

VIEW HOTELS

財務指標

(2017年10月31日現在)

自己資本比率 (%)		41.2
有利子負債	社債・借入金 (百万円)	8,433
	リース負債・割賦未払金 (百万円)	5,537
純資産 (百万円)		12,396
有利子負債 / 純資産倍率		1.13

- 2018年4月期第2四半期末時点で、資産合計300.8億円、現預金25.4億円、有利子負債139.7億円、純資産123.9億円
- リース負債には、札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約に係るリース債務52.5億円を含みます



今後の新規ホテルの展開や改装などの設備投資に向けた
安全性の高い財務基盤を維持

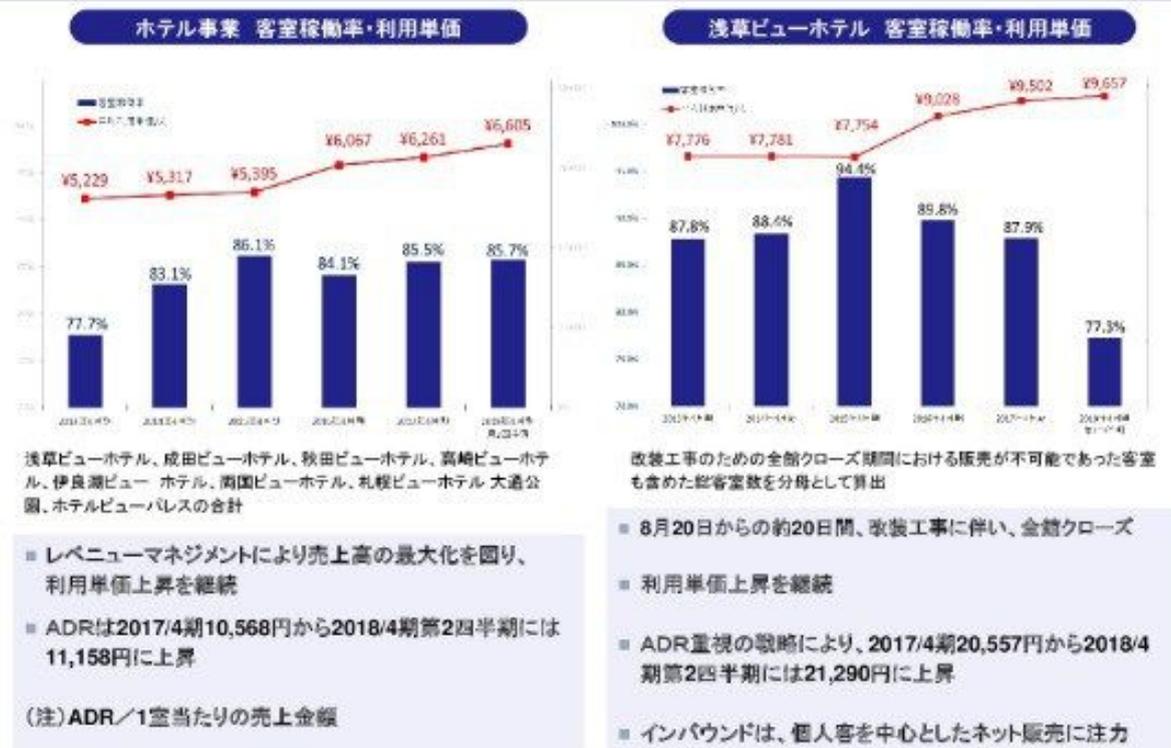
5ページに移ります。財務指標につきましては、2018年4月期第2四半期末の時点で、資産合計が300億8,400万円、現預金が25億4,200万円、有利子負債が139億7,100万円、純資産が123億9,600万円となっております。自己資本比率が41.2パーセントです。

有利子負債につきましては、先ほどもご説明申し上げましたが、札幌ビューホテル 大通公園の15年分の契約賃料の52億5,000万円が、リース負債として含まれており

ます。2017年4月期末より自己資本比率も変動はしていますが、それを含んでも、財務基盤は高い安全性を構築しているのが、（資料から）見てとれるかと存じます。

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ④ホテル事業の指標

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ④ホテル事業の指標



それでは、6ページに移ります。こちらでは、ホテル事業の指標についてご説明申し上げます。

ホテル事業のすべての客室でレベニューマネジメントを実施しておりまして、売上高の最大化を図っております。左側の表（の下の記載）におきましては、全ホテルの合計となっておりますが、1人あたりの平均利用単価（折れ線グラフ）の上昇とともに、1室当たりの販売単価であるADRが、前期から全体で5.6パーセント、約590円ほど上昇しています。

続いて（資料の）右側が、浅草ビューホテルの（客室稼働率・利用単価）です。こちらにつきましては、この第2四半期の客室稼働率（棒グラフ）が77.3パーセントと記載されております。改装工事で全館クローズして、販売不能であった（2017年8月20日からの）3週間分を含めた総客室数を分母として算出しています。その3週間を除きますと、昨年（2016年）とほぼ同じ水準でございました。ちなみに、全館クローズが終わりました（2017年）10月におきましては、89パーセントの客室稼働率に戻っております。

浅草ビューホテルは、5月から11月までの7ヶ月を利用した、1階フロアの大規模改装がございました。そのため、業績も懸念しておりましたが、すでに実施済みの全室リニューアル等の付加価値アップ効果もございまして、客室稼働率は前期とほぼ同じ水準を維持しながら、平均利用単価がアップしました。そして、ADRが前期から730円ほど上昇しているというのも、都内の東部のホテルエリアでは、珍しい数値かと認識しています。

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ⑤設備投資等の実績

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ⑤設備投資等の実績 VIEW HOTELS

主な設備投資の状況 (2017年5月1日～2017年10月31日)

2017年9月

浅草ビューホテル

・1階フロント セカンドロビー



フロント セカンドロビー

札幌ビューホテル 大通公園

・グリルブッフェ&レストラン・バー オードリー新設



「オードリー」店内

2017年10月

札幌ビューホテル 大通公園

・客室61室新設



新設客室一例

その他

主な安全・安心への取り組み

<p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: x-small;">浅草ビューホテル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客用エレベーター2機更新工事 ・受変電設備更新工事 ・空調設備更新工事 ・配管更新工事 	<p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: x-small;">成田ビューホテル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客用エレベーター2機更新工事 <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: x-small;">伊良湖ビューホテル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調更新工事 ・シーサイド東面雨水排水及び法面改修工事 	<p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: x-small;">西園ビューホテル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備更新工事 <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: x-small;">札幌ビューホテル 大通公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階従業員出入口手洗い場整備工事 ・地下1・2階従業員用トイレ 自動ドア化工事
--	--	--

7ページに移ります。続きまして、今期第2四半期で実施いたしました、主な設備投資の実績です。先ほども触れましたが、浅草ビューホテルの1階の大規模改装のうち、(2017年)9月に、フロントおよびセカンドロビーが完成しています。同じく9月に、札幌ビューホテル 大通公園のグリルブッフェ&レストラン・バー「オードリー」を新設いたしました。

オードリーは、都内でもナンバーワンクラスの評価を頂戴しています、浅草ビューホテルのスカイグリルブッフェ「武蔵」のノウハウを用いた設計を行っております。また、北海道の食材をふんだんに使用した、開放感あふれるブッフェレストランということで、札幌でナンバーワンの評価を目指して、現在取り組んでいるところです。

10月には、同じく札幌ビューホテル 大通公園の、2階から4階の3フロアにございましたレストラン・小宴会場等の改装が終了しており、客室61室を新設した次第です。

また、エンジニアリングレポートに基づき、安全・安心を担保するための施設の更新および工事も実施しております。（2018年4月期は）第2次中期経営計画の初年度として、設備投資費に総額50億円を計上して、実行に移しているところです。

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ⑥トピックス

1. 2018年4月期 第2四半期業績の状況 ⑥トピックス

VIEW HOTELS

主な経営のトピックス

(2017年5月1日～2017年10月31日)

5月3日 札幌ビューホテル 大通公園 オープン

- ブッフェレストランを新設し、レストラン・バーを5ヶ所から2ヶ所に集約
- 客室を61室増室



自己株式の取得 ～ 株主への一層の利益還元 ～

- 取得対象株式の種類／普通株式
- 取得期間／2017年1月13日～2017年7月31日
- 2017年7月末累計で297,600株を取得（取得価格総額 408,270,100円）

5月24日 電子決済サービス「アリペイ」の導入 ～ インバウンド需要の取り込み施策 ～

- 中国国内で利用が伸びているアリペイを導入、中国人のインバウンド需要の取り込み

7月7日 高崎ビューホテル事業譲渡についての基本合意契約締結

- 高崎ビューホテルは、2017年12月31日をもって営業を終了
- 株式会社ココパルクと当該事業の譲渡について基本合意契約締結

8ページに移ります。こちらは、第2四半期のトピックスです。

まず1つ目が、（2017年）5月3日に、オペレーションのチェンジにより、札幌ビューホテル 大通公園がリブランドオープンいたしました。ご説明申し上げましたとおり、グリルブッフェ&レストラン・バーを新設いたしまして、5ヶ所あったレストラン・バーにつきましては、グレードを上げた上で2ヶ所に集約しています。

また、小宴会場およびバーを、新たに客室に改装いたしまして、婚礼部門からは撤退しています。このように、選択と集中によりまして、より宿泊部門に力を入れた構成に変えて、収益の拡大を図っていくといった考え方です。

2つ目が、株主さまへのいっそうの利益還元策といたしまして、今年（2017年）1月から7月までの間で、自己株式の取得を実施いたしました。総額で約4億800万円、29万7,600株を取得しています。

3つ目が、インバウンド需要への取り込み施策の一環としまして、中国国内で約5億人が利用している電子決済サービス「アリペイ」を、浅草ビューホテルで導入いたしまして、利便性を高めました。みなさまもご存じのように、これにつきまして

は、スマートフォンなどでバーコードを読み上げまして、そして簡単に決済できることで、中国人旅行者から好評を得てございます。

そして4つ目が、すでに今年の1月に「本年末（2017年12月31日）をもって営業を終了する」と発表しておりました、高崎ビューホテルにつきまして、高崎市および商工会議所が中心となって事業継承先を探しておりました。そうしたところ、株式会社ココパルクより、事業の譲り受けの申し出があるというお話をいただきました。当社としましては、発表当初は建物を解体・土地の売却を予定しておりました。しかし、これまでの地元のみならずからいただきましたご支援、そして地域経済の影響などを考えまして、再度検討した結果、新耐震基準への対応をしていただくことを約束・条件として、当該事業の譲渡について、基本合意（契約締結）に達しています。

以上が、第2四半期のトピックスでございました。

2. 今後の主な取り組み ①2018年4月期 連結業績予想

2. 今後の主な取り組み ①2018年4月期 連結業績予想



2018年4月期連結業績 予想（2017年5月1日～2018年4月30日）

連結損益計算書

【単位:百万円】

2018年4月期	第2四半期累計				通期		通期	
	業績予想	実績	増減額	達成率	業績予想 (2017.8.17発表)	業績修正予想 (2017.12.8発表)	修正前業績予想比 増減額	
売上高	11,000	10,839	△ 161	98.5%	22,000	22,000	0	
営業利益	400	448	48	112.2%	700	750	50	
経常利益	360	460	100	128.0%	610	710	100	
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	173	83	192.5%	160	240	80	
1株当たり当期純利益 (円 銭)	9.56	18.40	-	-	17.01	25.52	-	

【当第2四半期累計連結業績予想 実績との差異の理由】

○販売費及び一般管理費の低減により営業利益が増加 ○浅草ビューホテルの改装関連費用等が計画より低減

【当通期累計連結業績予想 修正の理由】

○当第2四半期累計連結業績の進捗等を踏まえ修正

【配当】

○1株当たり普通配当22円を維持する予定

10

それでは、10ページに移ります。今後の取り組みについてのご説明ですが、まずは、2018年4月期の業績予想についてご説明申し上げます。

通期の連結業績予想につきましては、（2017年）8月17日に、売上高が220億円、営業利益が7億円、経常利益が6億1,000万円、当期純利益が1億6,000万円と発表しておりました。

先ほどのご説明のとおり、上期の利益が上振れしていますので、（資料の）右側に記載のとおり、営業利益をプラス5,000万円、経常利益をプラス1億円、当期純利益をプラス8,000万円と上方修正しました。

これにより、営業利益を7億5,000万円、経常利益を7億1,000万円、当期純利益を2億4,000万円とする業績予想を、決算発表と同時（2017年12月8日）に開示しています。

続いて配当は、大型設備投資等により、営業利益・経常利益につきましては減益を予想していますが、1株当たりの配当につきましては、22円を継続していく考えです。

2. 今後の主な取り組み ②今期の主な計画

2. 今後の主な取り組み ②今期の主な計画

2018年4月期の主な計画

今期/今後の主な営業施策

- 浅草ビューホテル1階ロビーフロア全面リニューアルオープン
- 高崎ビューホテル営業終了(2017年12月末)
- 安全・安心のための取り組み
- 「ビューホテルらしさ」を軸としたブランドイメージ向上



今期/今後の主な設備投資計画

- | | |
|--|--|
| <p>浅草</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1階ロビーフロア全面リニューアル工事 ■ 客用エレベータ1機更新工事 ■ 厨房改修工事(3、4、6、28階)等 | <p>成田</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 東館 耐震工事 ■ 中央監視自動制御更新 ■ 防火シャッター改修工事等 |
| <p>秋田</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 空調用ターボ冷凍機改修工事等 | <p>伊良湖</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 防火シャッター改修工事等 |

11

11ページをお願いします。今後の主な計画についてのご説明に入ります。まずは、営業施策および戦略のご説明です。これらの事項は、第2次中期経営計画に沿ったものです。

浅草ビューホテルの1階ロビーの全面改装が（2017年）11月に終了し、リニューアルオープンいたしました。浅草ビューホテルにつきましては、詳しく後ほどご説明申し上げます。

高崎ビューホテルは、先ほどもご説明申し上げましたが、（2017年）12月31日の宿泊のお客さまをもって、当社としては営業を終了いたします。最後にニューイヤーズ伝（全日本実業団対抗駅伝競走大会）のお客さまをお泊めして、そしてしっかりと見送って、（営業を）終了いたします。高崎ビューホテルは、そのようなことで終了となります。当社は（2018年）1月上旬に土地・建物を譲渡しまして、別の企業体が「ホテルグランビュー高崎」として、今後は営業していく予定となっています。

続いて、安全・安心のための取り組みにつきましては、施設の更新等、計画的に予算化を図っていますので、しっかりと実行に移していきたいと考えています。また、安全・安心のリスク管理につきましても、本社の総務部を主管部署として、強化を図ってまいります。

サービス面につきましては、当社「ビューホテルらしさ」の具体化・浸透を図り、ブランドイメージの向上を進めてまいります。

また、4月より導入いたしました楽天ポイントカードサービスにより、来館への動機付け、そしてピンポイントでのセールスプロモーションによりまして、集客の拡大を図ってまいります。

続いて、今期の第3四半期以降の主な設備投資ですが、（資料の下部を）ご覧のとおり、安全・安心への投資となっている次第です。

以上のとおり、計画的にしっかりと実行しまして、経営していきたいと考えている次第です。

2. 今後の主な取り組み ③来期以降に向けた主な取り組み

2. 今後の主な取り組み ③来期以降に向けた主な取り組み



来期以降に向けた主な取り組み

来期以降／今後の主な営業施策

- 2018年5月22日に大阪ビューホテル 本町をオープン
- 国内主要都市をエリアターゲットとして、継続的に新規出店計画を推進
- 安全・安心確保のための取り組みの継続
- 多様な販売チャネルを活かしたインバウンド需要への対応
- 更なる精度向上を図るためにレベニューマネジメントの集中コントロール体制の開始

2018年5月22日オープン 大阪ビューホテル 本町について

- 大阪府中央区本町に客室170室の宿泊特化型ホテル
- 大阪を代表するビジネス街で、大阪観光の名所が多数点在する「心齋橋」、「なんば」にも近く、ビジネスだけでなく、国内外のお客様の観光拠点としても利便性に富む
- 和のコンセプトで「景観」を生かした上層階客室やモダンな和風庭園
- 「食のVIEW」をコンセプトにした地域密着型の直営レストラン



大阪ビューホテル 本町 全室イメージサービス

12

12ページに移ります。続いて、来期以降に向けた主な取り組みをご説明申し上げます。

まずは来年（2018年）5月22日に、「大阪ビューホテル 本町」が開業いたします。ホテルの概要につきましては、（資料の）下の部分に記載されています、「2018年5月22日オープン 大阪ビューホテル 本町について」という欄をご参照いただきたく存じます。地上19階建て・170室で、直営レストランを兼ね備えた、都市型観光ホテルです。

交通至便な立地です。ご存じのとおり大阪本町は、大阪を代表するビジネス街ではございますが、（大阪観光の名所が多数点在する）「心齋橋」および「なんば」にも近く、国内外の観光目的のお客さまを中心に、観光拠点としてご利用いただけますよう、取り組んでまいります。

館内につきましては、和を意識したモダンな雰囲気演出しています。和洋室をご用意して、機能性を兼ね備えた快適な空間をご提供いたします。

その他、大阪ビューホテル本町に続く新規出店計画につきましては、現在いくつかの主要都市に候補地を抱えています。計画を推進してまいりまして、発表できる段階になりましたら、みなさまにもご報告申し上げたいと思っております。また、すでに中期経営計画に落とし込んでいます、安全・安心対策も継続してまいります。

営業面におきましては、現在の販売チャネルを、さらに深化させたいと考えています。そして、さらなる精度向上を図るべく、新たなレベニューマネジメントの集中コントロール体制を、今後は構築してまいります。

以上が、来期以降の営業施策です。

3. 浅草ビューホテル 1階リニューアルオープンのご紹介

①ロビー

3. 浅草ビューホテル 1階リニューアルオープンのご紹介 ①ロビー

浅草ビューホテルの改装 旗艦ホテルを更に魅力的な空間に

「日本情緒をテーマとしたロビーフロアの改装」 ブランドイメージを高め、宿泊・料飲の売上の増進

■ロビー・フロント

- ・新生浅草ビューホテルのシンボルかつ、街（浅草）の象徴となりうるロビー空間
- ・デザインテーマ：【和モダン】 グローバルな和をスタイリッシュに表現し、ハイクラスな空間を演出



14

14ページです。最後になりますが、今月（2017年12月）1日にリニューアルオープンした、旗艦ホテルの浅草ビューホテルの、1階ロビーフロアについてご説明いたしま

す。これは、当社の中期経営計画の成長戦略の1つでございます。旗艦ホテルの魅力を高めることで、当社の企業価値も高めていきたいといった考え方です。

浅草ビューホテルはこれまで、スカイツリーの開業に併せまして、上階の宴会場・レストランにつきまして、大改装を行いました。また、客室につきましても、全室リニューアルを図っています。また、婚礼施設の新設や改装なども実施してまいりましたが、これらの一連の最終章にあたるのが、この1階フロアの全面リニューアルです。

魅力を向上させて、そして、さらなる収益力の向上を実現してまいりたいと考えています。日本情緒をテーマといたしましたロビーフロアの改装によりまして、ブランドイメージを高め、そして宿泊および飲料の売上伸長につなげたいという目論見です。

まず、すべてのお客さまの入口となります、ファーストロビー。こちらの天井は、正面から見ますと、和の縦格子になっています。そして側面から見てみますと、洋のアーチという、斬新な格子のデザインとなっています。「浅草変わり格子」として、表現しています。そして、この浅草変わり格子を背景に、3段の滝が流れています。

また、セカンドロビーです。こちらはフロントロビーですが、ハイクラスの演出を施しました。本物のお神輿が飾られており、江戸浅草をご体感いただくことができます。

3. 浅草ビューホテル 1階リニューアルオープンのご紹介

② レストラン

3. 浅草ビューホテル 1階リニューアルオープンのご紹介 ②レストラン VIEW HOTELS

■レストラン【GRILL DINING 薪火】

- ・「和」と「洋」の自然な共存をテーマに、スタイリッシュな大人の空間に改装し、バラエティ豊かな料理やドリンクをご提供
- ・FIRE PLACE ～ファイヤープレイス～ 本格薪釜で“魅せる&味せる”炎のエンターテインメントレストラン。

【FIRE PLACE ～ファイヤープレイス～】



【店内 / 外観】



15

15ページです。このファーストロビーに入って、左側には滝が流れていますが、右側にあるのはレストラン「GRILL DINING 薪火」です。レストランの外からもロビーからも、薪火の釜を見ることができます。左側には滝が流れ、右側にはかまどの炎が見えるといったような、水と火のコントラストで、お客さまをお出迎えいたします。

レストランの中は、スタイリッシュな大人の空間を演出しています。バラエティ豊かな、薪火グリル料理をご提供いたします。本格薪窯の炎のエンターテインメントレストランとして、今後は期待しているところです。

3. 浅草ビューホテル 1階リニューアルオープンのご紹介 ③ラウンジ・デリカ

3. 浅草ビューホテル 1階リニューアルオープンのご紹介 ③ラウンジ・デリカ VIEW HOTELS

■ラウンジ【 THE LOUNGE 】

吹き抜けに通じる変わり格子を一部使用し、ロビーとの一体感を図った和モダンのスタイリッシュなラウンジ&バー

■デリカ【 穂乃華 】

焼きたてブレッドや色とりどりのスイーツのほか、拡大する中食需要に対応し、多彩なお惣菜を取り揃えたパティスリー

【THE LOUNGE : 店内】



【穂乃華 : 商品 / 店内 / 外観】



16

16ページです。「THE LOUNGE」では、玄関ロビーと一体感を図りました、和モダンのスタイリッシュなラウンジ&バーを演出していきまして、落ち着いた空間の中で、ごゆっくりおくつろぎいただけるスペースです。

また、デリカコーナー「穂乃華」では、ホテルメイドのお惣菜・焼きたてのパン・色とりどりのスイーツなど、多彩なラインナップで商品を販売しています。拡大している中食需要に対応してまいります。

以上のように、ブランドのイメージ・付加価値を高めることで、宿泊および料飲の単価を向上させる。そして、業績に反映させたいと考えているところです。なお、この改装につきましては、（2017年）11月末に全面リニューアルが完成しています。

地元の行政のみなさま、議員のみなさま、マスコミのみなさま。そして、日頃お世話になっている金融機関のみなさまおよび、旅行会社のみなさまなどにご出席を賜りまして、レセプションも終了しております。

以上となります。

4. 補足資料 ①会社概要

4. 補足資料 ①会社概要

会社名	日本ビューホテル株式会社	連結業績・資産	2016年4月期	2017年4月期	
所在地	東京都台東区西浅草3-17-1	売上高	19,721百万円	20,179百万円	
設立	1953年5月4日	営業利益	1,327百万円	1,362百万円	
代表者	代表取締役社長 遠藤 由明	総資産	24,162百万円	23,135百万円	
資本金	2,775百万円 (2017年10月31日現在)	純資産	14,543百万円	12,575百万円	
決算期	4月30日				
市場	東京証券取引所市場第一部				
従業員数	連結 923名、単体 758名 (2017年10月31日現在、嘱託・パート・アルバイトを除く)				
大株主 (持株比率)	ヒューリック株式会社				26.92%
	株式会社立飛ホールディングス				5.96%
	名古屋鉄道株式会社	5.11%			
	日本ビューホテルグループ 社員持株会	2.52%			
	日本駐車場開発株式会社	2.14%			
<small>(2017年10月31日現在) 持株比率は発行済株式総数より自己株式数(297,800株) を控除して計算しています。</small>					

18

その他に、補足資料を添付しています。18ページに、会社の概要がございます。

4. 補足資料 ②事業の沿革

創業 那須の開発	事業の拡大	経営の再建	新たな成長へ
<p>1953年 那須観光株式会社設立</p> <p>1960年 那須ビューホテル開業</p> <p>1964年 那須興業株式会社設立</p> <p>1965年 りんどう湖ファミリー 牧場 (現 那須りんどう湖 LAKE VIEW) 営業開始</p>	<p>1966年 日本ビューホテル株式会社 に商号変更</p> <p>1968年 伊良湖ビューホテル開業</p> <p>1974年 成田ビューホテル開業</p> <p>1977年 ホテルビューパレス開業</p> <p>日本ビューホテル株式会社設立</p> <p>1983年 高輪ビューホテル開業</p> <p>1984年 秋田ビューホテル開業</p> <p>1985年 浅草ビューホテル開業</p>	<p>2001年 民事再生手続を申立</p> <p>2005年 民事再生手続終結決定</p> <p>2007年 エムシーピースリー 投資事業有限責任組合 による出資</p> <p>2012年3月 再生債務を期限前返済</p>	<p>2012年 5月 浅草ビューホテルレストラン 「食蔵」オープン</p> <p>2014年 7月 東京証券取引所 市場第二部上場 清涼の宿 おくたま路開業</p> <p>2015年 3月 中期経営計画 策定 (2016年4月期～2018年4月期)</p> <p>2015年 7月 東京証券取引所 市場第一 部指定</p> <p>2015年10月 ビューリック株式会社との資本・業務提携契約締結</p> <p>2015年11月 岡田ビューホテル開業</p> <p>2016年7月 那須りんどう湖 LAKE VIEW 那須の恵み Makke! 開業</p> <p>2017年 1月 第2次中期経営計画 策定 (2018年4月期～2021年4月期)</p> <p>2017年5月 札幌ビューホテル 大通公園 開業</p> <p>2017年12月 浅草ビューホテル 1階ロビーフロア全面リニューアルオープン</p> <p>2018年 5月 大原ビューホテル 本町 開業予定</p>
			

19ページに、事業の沿革がございます。

4. 補足資料 ③事業セグメント

浅草ビューホテルを旗艦ホテルとするホテル事業を中核に、宿泊・観光事業グループを形成



20ページに、事業セグメントがございます。

4. 補足資料 ④運営ホテル一覧

国内に19ホテル(提携含む)を運営 **ホテル事業**



① 浅草ビューホテル ② 成田ビューホテル ③ 秋田ビューホテル ④ 高崎ビューホテル

⑤ 伊良湖ビューホテル ⑥ 岡田ビューホテル ⑦ 札幌ビューホテル 大通公園

⑧ 那珂中央ホテルビューパレス ⑨ 郡山ビューホテル ⑩ 郡山ビューホテルアクセス

⑪ 甲斐ビューホテル ⑫ 高山ビューホテル ⑬ ホテルグランビュー 沖縄 ⑭ ホテルグランビュー ガーデン沖縄 ⑮ ホテルグランビュー 石垣

⑯ 甲斐ビューホテル ⑰ さようけい館 ⑱ ホテルプラザ 花 ⑲ ホテルグリーンパル 那須

⑳ 大阪ビューホテル 本町
2018年5月22日オープン

施設運営事業 ※下記の他、旅館1施設、保養所1施設の運営業務を受託

21ページに、運営ホテルの一覧がございます。

4. 補足資料 ⑤財務の状況

連結損益計算書						連結貸借対照表					
単位:百万円	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期	単位:百万円	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期
売上高	16,820	17,645	18,188	19,721	20,179	現金及び預金	3,344	2,809	3,490	3,572	3,221
売上原価	4,351	4,566	4,710	5,030	5,035	売掛金	722	666	659	969	854
売上総利益	12,468	13,078	13,478	14,690	15,143	その他流動資産	760	640	622	819	928
販売費・一般管理費	12,119	12,484	12,608	13,363	13,781	流動資産合計	4,827	4,116	4,772	5,260	5,005
営業利益	348	593	869	1,327	1,362	有形固定資産	15,596	16,117	16,419	17,097	16,870
営業外収益	667	327	335	96	148	無形固定資産	1,436	1,425	1,414	1,405	44
営業外費用	164	146	146	164	206	投資その他の資産	408	293	259	399	1,214
経常利益	851	774	1,058	1,258	1,304	固定資産	17,440	17,836	18,093	18,901	18,129
特別利益	11	2	0	112	3	資産合計	22,268	21,953	22,866	24,162	23,125
特別損失	304	167	133	315	2,672	うち有利子負債(リース負債含む)	6,519	5,939	5,684	5,580	6,726
税金等調整前益剰剰利益	558	609	925	1,055	△1,363	流動負債	3,676	3,649	3,934	4,876	4,386
法人税、住民税及び事業税	152	237	308	295	394	固定負債	5,946	5,154	4,813	4,742	6,173
法人税等調整額	1	△46	29	53	△203	負債	9,622	8,804	8,747	9,618	10,559
当期純利益	404	418	587	706	△1,554	資本金	2,579	2,579	2,751	2,766	2,769
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	資本剰余金	1,499	1,499	1,671	1,686	1,689
親会社株主に帰属する当期純利益	404	418	587	706	△1,554	利益剰余金	8,565	8,904	9,572	10,085	8,269
						自己株式	-	-	-	-	△247
						その他	1	85	123	4	94
						純資産	12,645	13,148	14,118	14,543	12,575
						負債純資産合計	22,268	21,953	22,866	24,162	23,135

そして22ページに、前期までの財務状況を記載していますので、お時間があるときにお目通しいただければと存じます。以上が、2018年4月期第2四半期決算のご説明でございました。

今後も、さらに業績の拡大および、安全・安心へのしっかりとした取り組み強化を行い、企業価値の向上を図ってまいりたいと考えていますので、今後ともみなさまからのご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

長時間にわたりご清聴いただきまして、ありがとうございました。